

赤潮写真集

香川県海域で発生した赤潮の写真集のページです。赤潮とは、水中の微生物、特に微細藻類（植物プランクトン）の大量増殖や集積の結果生じる海水の着色現象のことをいいます。赤潮の色は原因生物によって異なります。夜光虫（ノクチルカ）による赤潮は桃色～朱色に着色し、もっとも「赤潮」のイメージに近いです。メソディニウムは赤ブドウ酒色～紫がかった赤色、ミドリムシは緑色、シャットネラやカレニアは茶褐色～黒褐色を呈します。

当ページに掲載されている画像の無断転載・複製を禁じます。画像のご使用を希望される方は、氏名、職業又は学校名および使用目的を明記のうえ、香川県赤潮研究所あてへ電子メール（Email: suisanshiken@pref.kagawa.lg.jp）にてお問合せください。高画質のファイルを希望される場合はその旨もお知らせください。



①

赤潮構成種	<i>Noctiluca scintillans</i> （ノクチルカ シンチランス, 夜光虫）
撮影年月日	1982年（昭和57年）10月28日
撮影場所	香川県さぬき市吉見海岸
撮影者	香川県赤潮研究所
着色	朱色
備考	1982年10月13日～11月20日にかけて、播磨灘西部・備讃瀬戸東部海域の潮目・沿岸等で集積・拡散を繰り返した。本赤潮により漁業被害（養殖ハマチのへい死）が発生した。



②



③

赤潮構成種	<i>Noctiluca scintillans</i> (ノクチルカ シンチランス, 夜光虫)
撮影年月日	2005年(平成17年)7月28日
撮影場所	香川県小豆島東部
撮影者	香川県赤潮研究所
着色	朱色
備考	2005年5月16日~7月28日にかけて, 播磨灘西部海域で筋状の着色域が消長を繰り返した.



④



⑤

赤潮構成種	<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア ミキモトイ)
撮影年月日	1995年(平成7年)8月6日
撮影場所	香川県さぬき市津田沖
撮影者	香川県赤潮研究所, 香川県水産課
着色	茶褐色
備考	1995年7月31日～8月19日にかけて, 播磨灘南西部で着色域が確認された。本赤潮により養殖カンパチ, スズキ, マダイなどのへい死のほか, シロギス, キュウセン, アサリ, アワビなど天然魚介類のへい死も確認された。



⑥

赤潮構成種	<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア ミキモトイ)
撮影年月日	2008年(平成20年)8月12日
撮影場所	香川県内海湾
写真提供	水産庁瀬戸内海漁業調整事務所
着色	茶褐色
備考	2008年8月12日～8月16日にかけて、内海湾で筋状の着色域が確認された。



⑦



⑧

赤潮構成種	<i>Dictyocha fibula</i> (= <i>Chattonella globosa</i>) (ディクチオカ フィブラ (= シャットネラ グロボサ))
撮影年月日	1981年(昭和56年)6月16日
撮影場所	播磨灘南西部
撮影者	香川県赤潮研究所
着色	茶褐色
備考	1981年6月13日～6月19日にかけて、播磨灘南西部・小豆島東部で着色域が確認された。透明度板上に筋状の細胞の塊がみえる(上右図)



⑨



⑩

赤潮構成種	<i>Takayama pulchellum</i> (= <i>Gymnodinium</i> sp. Type 84-k) (タカヤマ パルケラム)
撮影年月日	1998年(平成10年)9月11日
撮影場所	坂出市御供所漁港
撮影者	香川県赤潮研究所
着色	緑がかった茶褐色
備考	1998年8月22日～9月15日にかけて、坂出市御供所漁港および林田港内で着色が確認された。本赤潮により漁業被害(底びき網漁業で漁獲されたカレイ類, マダコ, シャコ, ウシノシタ類等のへい死)が発生した。



⑪



⑫

赤潮構成種	<i>Myrionecta rubra</i> (= <i>Mesodinium rubrum</i>) (ミリオネクタ ラブラ (= メソディニウム ラブラム))
撮影年月日	2011 年(平成 23 年)11 月 1 日
撮影場所	燧灘東部
写真提供	山口県水産研究センター内海研究部
着色	黒がかった薄い赤紫色
備考	2011 年 11 月 1 日～11 月 2 日にかけて, 燧灘東部一帯で薄い着色域が出現した. 上左画像の上 4 分の 1 ほどのところに, 赤潮の境界面が確認できる.



⑬



⑭

赤潮構成種	<i>Peridinium quinquecorne</i> (ペリディニウム クインクエコルネ)
撮影年月日	2009年(平成21年)8月20日
撮影場所	香川県志度港
撮影者	香川県赤潮研究所
着色	茶褐色
備考	2009年8月18日～8月20日にかけて、志度港内で着色域が断続的に出現した。画像では着色の状況が分かりづらいが、表層水をバケツにとるとはっきりと確認できた(上右図)。